

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議【報告書】			
会議名	阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議		
開催日時	令和6年9月11日(水) 14:00~15:00	開催場所	阿南医療センター 2階講堂
報告者	湯浅		
議題	①意見交換会 ・ケアカフェについて ②各種課題に対する議論について ・ACPに対する情報共有について ・医療機関・介護サービスマップについて		

議題①	意見交換
検討した項目	①ケアカフェについて
検討内容	①第1回ケアカフェの振り返り ②第2回ケアカフェの開催内容について
結論	①阿南医療センターの見学は多数の応募をいただいた。実際の現場を見ることで情報共有がスムーズとなり、連携強化に繋がったと好評であった。見学ツアーに参加できなかった方々には、阿南医療センター文化祭で院内見学ができることを伝えて対応した。講義では、阿南医療センターの組織体制や取組について分かりやすく説明していただき、今まで敷居が高いと思っていたが、理解したことで連携しやすくなったとの声が聞けた。グループワークでは、多職種同士がコミュニケーションを図ることもでき、様々な意見交換ができた。 ②第2回ケアカフェの内容について、3つの案について議論を行い、11月20日に薬剤師による講義を行う。お薬手帳の活用等を内容に組み込み、事前に各部会等から質問を受け付け、講演を行う。講師は薬剤師会南部支部長の内田先生に依頼する予定。
残された課題	第3回ケアカフェは、防災についての内容を予定。 阿南市危機管理課や阿南市消防に講義していただき、危機管理課や消防との連携についてグループワークを行い課題抽出を行う。
備考	

議題②	各種課題に対する議論について
検討した項目	①ACPについて ②医療機関・介護サービスマップについて
検討内容	①ACPに対する情報共有について ②医療機関・介護サービスマップの情報提供方法について
結論	①ACPについては情報共有・連携に繋げる。 ・医療は、診療報酬改定でACPの取り組みが必須となり、来年5月までに体制構築を行っている。しかし、医療だけで成り立たないので、介護との連携でその人の人生観を情報収集してのケアが必要である。 ・方法としては、入院前は介護・福祉から情報提供を行い、入院等が終わり在宅に戻る時にはケアマネジャー等へ情報提供を行い、その人の人生観の変化も共有できる仕組みを構築したい。 ・阿南市とも連携し、地域包括ケアシステムの構築を行っていく。 ・看取りに関して、ACPが市民に少しずつ普及されていると感じるが、県とも連携しながら取り組んでいく。 ・特に阿南市は「顔と顔の見える関係づくり」に取り組んでいるので継続して関係構築を行い、プロジェクトチームと「たまたま箱」「もしもの時のために」を活用してACPの普及を行う。 ②医療機関・介護サービスマップについて ・現在、阿南市在宅医療・介護連携支援センターHPでマップを公表しているが、ICTの普及によりマップの落とし込みは必要ないとの結論になった。阿南市内の医療機関、福祉・介護事業所の一覧表を作成し、情報提供に繋げる。 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会・お世話センター等と連携して作成する。
残された課題	①については、阿南医療センターのACPプロジェクトチームに医療関係者、福祉施設・事業所から参加し、普及啓発や仕組みづくりに繋げる。 ②については、今年度の更新より変更を目指す。
備考	

議題⑤		その他
検討した項目	①研修案内について	
検討内容	①阿南医療センターからの研修案内 ②阿南市在宅医療・介護連携支援センターからの研修案内 ③阿南医療センター文化祭について	
結論	①②研修案内があれば阿南市の協力のもと広報し、医療・介護従事者の資質向上に繋げる。 ③阿南医療センター文化祭は「高齢者お世話センター相談コーナー」を設けて、医療と介護の連携に繋げる。	
残された課題	なし	
備考		

【会議風景写真】

